



# 漫 録



## 道路に關することを

池 本 泰 兒

### 道 路 愛 護

岩澤技師が北陸地方に於ける匡救土木工事の監査から歸へられて、私の顔を見るなり『君、石川縣とても道路愛護に熱心な村があるぜ。』と誰かに話して聞かさなければ居られない程の感激さで色々と其處の模様を話して下さつた。

國道府縣道は知事の管理になつて居るからとて、其の利用者か夫れに無關心で居ては、どうしたつて立派に維持されるものでない。總ての人が之れに細い心遣ひをして呉れなければ、どんな構造物だつて具合良く維持されるもので

ない。一般に此の頃の我が國の氣風は、政府を頼み過ぎる。政府は又自力更正と云つて居るが、兩方で云ひ合つてゐるばかりではどうにもなるものではない。自らやらうと云ふ意志ほど必要なものはなく又感動させるものはない。私は此の話を聞いて有難いことだと思つた。自分ばかりで聞ひて居ることは出来ない。各位と共に此の美しい道路愛護の熱をたゞへ様ではないか。

處は石川縣羽咋郡北志雄村に始まる。大正八年在郷軍人分會で其の基金を作るために、村内から約千五百圓の基金を募集した其の報謝の意味で、分會として奉仕的に道路維



持をしようと思ふことになつてゐた。然し其の後實行されないで居られたのを大正十三年北志雄村の助役であつた中村長久氏が其の分會長となつた時に、之を實行することにしたのである。其の結果成績がいゝので、村民に非常な感動を興へ、翌十四年には、青年團、小學校の生徒が参加するに至り十五年には全村民總動員で之れに出動する様になつたのである。斯くして從來路面が郡内一に悪いので評判であつたのが、逆に郡内一の良路面の定評を得る様になつたと云ふのである。

次第に隣村に影響を興へ昭和四年には富山縣速川村、久目村が之れに協同し、昭和五年には志雄村、南志雄村、桶川村が参加し、當日は働き得る者は總て出動することゝなり石川縣内でも四千人を超えたと云ふ。斯かる空氣であるから平常時に於ても、小學生も村人も路面の水溜りを見れば之れを排水し、輪漕には砂利を入れるなど道路愛護の念が總てに徹底してゐると云ふ。

毎年七月五日を道路愛護日としてゐるが、昨年は都合に

依つて七月三日にやつたので當日は一切の他の會合をやめて、然かも一家から五六人も出た家もあると云ふ。今では之れに做つて石川縣では加茂村、中田村、越路村、富山縣では熊無村等に於ても實施する様になつたと云はれてゐる。次第に賛同者を得て行く、熱と力とは全く敬意を表するものである。

今其の發企者北志雄村長中村長久氏の熱ある道路愛護に關する文章を掲げる。

#### 道路愛護デーに就て

北志雄村長 中村長久

道路は吾々の生活上必要缺く可からざるものであります。殊に志雄村外四ヶ村の如く電車汽車の便なく近代交通機關として僅かに自動車のみを利用しなければならぬ状況の土地に取りましては路面の良否は直ちに吾々の生産又は販賣する米炭木材等の運賃に影響するのでありまして道路は地方の生命であると言つても過言ではないと思ひます。

幸ひにして今日ではこの地方を貫通する府縣道が物資の運搬人馬の往復に支障ないものになりました事は往時の道路と比較しま

して自然と感謝の念が湧かざるを得ないのであります。

然しながら府縣道であるからと言って縣が全部修理して行くだらうと考へ違をして居らるゝ方々があつてはなりません。縣は限りある豫算を以て全縣

下國府縣道四百九拾里を修理せねばなりません。其の修理費は一里當平均四百圓

内外と聞いて居ります。約四百圓では如何にして現在の道が維持して行く事が出来ませうか。其の足らざる處は村民の愛護の念に依つて維持して行き度と思ひます。當地方民各位は茲に覺る處あつて道路愛護デーを催しました處其の成績良好にして同を重ねて今年も開催することになりましたことは誠に地方の爲め慶賀の至りに存



じます。前回迄の實績に鑑みるに同を重ねると共に愛護の念が徹底し縣當局も吾々の意を了とせられました結果年々路面は良くなつて來たのであります。

吾々村民の先覺者の努力によつて築かれたる此の道路。吾々村民の生活の動脈たる此の道路。一朝一夕に完成されたるものに非ざる事を思ふ時、將來地方の文化も此の道より來るものなる事を思ひ此の道路愛護デーを永久に地方年中行事の一つとして報謝の二字と共に共存共榮の精神に則り年に一日の奉仕をなし三百六十五日此の心懸にて道を愛し將來の光明ある美しき郷土を建設したいと思ひます。何卒七月三日には以上の意味に於て奮つて御参加を希望致します。

ます。

昨年七月三日に實施せられた道路愛護デーの状況を此處に擧げて見る。本文は之れに關係する樋川村、志雄村、南志雄村、北志雄村、南邑知村の五ヶ村共同で發行してゐる五箇村報第一五九號に載つてゐるものである。

#### 樋川村

午前六時半、在郷軍人分會員、青年團員、消防組員、女子青年團員は各字區長宅前に集合し、各區長より實施作業上の注意を受けて各自金澤七尾線、金澤羽咋線の部署につき開始を待ちつゝあるを指揮本部たる樋川村役場階上より見るに宛然師團の機動演習を觀覽するに異ならず。此の時山本村長の命令による作業開始のラツパの合圖に一齊開始され、尙又明年度の計劃の參考にも資すべく各村へ同時に視察を派遣されたることなどは全く周到なる注意と云ふ可きである。

特に計畫表中に挿入されたる標語を見ても道路愛護運動の熱心なることを知ることが出来る。

道は中高カマボコ形に

道を造つた祖先に感謝

道路愛護は道徳尊敬

奉仕の道は美しい

#### 漫 錄

文化の進度は道路より  
吾等の道を大切に

#### 計劃表の大略

#### 一、役員

總裁 山本村長 田中校長

外に十三名の指揮官を置き次の諸係を設く

督 勵 係 三名 準備整理係 五名

救 護 係 五名 接 待 係 二名

二、出場人員 四百五十名

金澤七尾線 四班 金澤羽咋線 二班

#### 志雄村

道路の完全は交通の利便を得て商業は之に困て發達し、産業は之に困て勃興す。地方の開發と道路との至大なる關係あるに鑑み、將來の志雄村の建設に偉大なる抱負と意見を有する荒木村長は今度の五ヶ村及富山縣二ヶ村聯合の道路愛護デーには特に他村に範を示す可き意氣を以て之が實施に當り、延ては社會公德心の涵養となし隣保相愛の共同心を養成するに誠に機宜に適したる一大事業なりとして努力されたるは志雄村のため慶賀の到りと云ふべきである。

午前七時半志雄村役場前に集合八時より各々作業を開始し統制ある活動振を發揮したり

計劃表の大略

一、役員

總裁 荒木村長

外拾名の指揮官を置き

次の諸係を設く

庶務係 二名

會計係 一名

救護係 二名

二、出場人員

貳百五十名

金澤七尾線

五班

南志雄村

本村は人口戸數に比

し面積廣く其の上山間

部と平坦部に地勢が二分されてゐるため行き届きたる自治の向

上發展を遂ぐるには機會均等の利便を享受し得る道路を完成する

接待係 二名

二、出場人員 參百名



事が急務なることを西山村長の兼ての理想とせるところにして道路愛護デー實施以來三ヶ年本年は例年よりも更に綿密なる計劃と訓練を經たる村民分會員、青年團員により、午前六時半各々定められたる作業場に於て人員

點呼をなし南志雄村道路

愛護デーの銘入りの染抜

の香り高き記念手拭の配布をなし同七時より作業

開始されたり

計劃表の大略

一、役員

總裁 西山村長

石田校長

外八名の指揮官を置き次の諸係を設く

傳令係 三名

整理係 二名

救護係 四名

所司原志雄線 六 班

北志雄村

午前五時假想動員を受けたる軍人分會員の集合によりその幕は切つて落された。應召人員五十六名濱邊羽昨聯合分會長の點檢を受けたる後富山縣水見町附近に上陸したる敵を撃退すべく砲車隊を羽昨町より小久米に通ずる府縣道を通過せしむるため道路の破損箇所を急遽修理すべしと云ふ命令に基き直ちに行動を開始したり。

六時三十分村民、青年團員、女子青年團員豫ての計劃書に基き各部署に集合を爲し記念手拭の配布を受け本村の標語たる

舉村一致で道を修繕しませう

それが人の道を愛する一つとなる

を心として作業を開始す。

尙特に目立つたのは當日沿道樞要箇所七ヶ所に道路愛護デー専用電話を架設し指揮本部よりの命令を一つく受信 発信の用に供し青訓生の傳令により迅速確實に連絡統制を圖り班員の移動及び行動作業の徹底を期し得たるは國家總動員の訓練にも充分の効果を與ふるものと信じたり。

計劃表

漫 錄

統裁 中村々長 木村校長

外十三名の指揮官を置き次の諸係を設く

傳 令 係 五 名 設備整理係 五 名

救 護 係 五 名 接待 係 九 名

二、出場人員 六百八十名

小久米志雄線 十一班

小久米羽昨線 一 班

所司原志雄線 七 班

尙午後五時より小學校々庭に於て北志雄村縣道移管十周年記念

式等大略左記の通り舉行せられたり 左 記

一 府縣道移管十周年記念式

一 本村道路功勞者表彰式

一 知事より北志雄村青年團及び在郷軍人分會の道路功勞者としての表彰式

一 帝國在郷軍人會長より北志雄分會の表彰傳達式

一 羽昨土木出張所長より山木工夫の表彰式

一 七ヶ村聯合道路愛護デー並に北志雄村府縣道道路移管十周年記念式に知事よりの告示

一 羽昨警察署長外六氏の祝辭

知事閣下告示寫

本日羽咋郡北志雄村外六ヶ村道路愛護デー並に北志雄村町村道縣移管十週年記念式舉行せらるるに當り所感を述ふるを得たるは洵に欣懐に堪へざる所なり抑も交通運輸機關の完否は文化の普及産業の發達に極めて密接の關係を有し民力の消長國運の隆昌に影響すること蓋し甚大なり就中道路は普く地方に分布し其の利用効果極めて大にして之れか愛護保全是地方開發の爲極めて緊要の事たるは言を俟たざる所とす

北志雄村叢に

東宮殿下御成婚を記念し卒先道路愛護デーを設け青年團在郷軍人分會之れが中堅となり舉村一致克く道路の維持修繕に力めたり。隣村又此の良風に倣ひ爾來數歲に亘り其の實績年と共に顯著にして衆庶の享くる惠澤亦實に大なるもののみならず實に社會奉仕の美風として道路愛護の精神を作興したる効果亦鮮少なからざるものあるを信す冀くは協力一致實踐躬行以て道路愛護の良俗を擴充し相牽きて其の實績を擧げ地方文化の開發と其の福祉増進に寄與せられんむことを一言述へて告辭とす

昭和七年七月五日

石川縣知事從四位勳三等 山口 安 憲

南邑知村

道路愛護デー實施以來其の効果の偉大なるに共鳴せる村民は何は止めても道路愛護デーだけは年中行事の一つとして實施したいと村民の熱心振であるだけに特に村内の僧侶は一人も殘らず短衣草鞋がけて甲斐々々しく皆と肩を並べての活動振は偉彩を放つてゐる。

由來本村は邑知郷に於ける大村の一つにして商工業者もあり將來の大杉野屋村の構成を目標とし羽咋小久米線の貫通を熱望して相當の負擔をも辭せざる意氣込は今日の沿道の作業振を見ても窺ひ知ることが出来るのである

計劃表の一端に記してある

作業については羽咋土木出張所員に従ひ區長及び隊長の指揮に従ひ確實に執行せよ。

社會奉仕の精神を以て道路愛護デーを實施することにより能率増大を期し得るなり。

實に規律のある又美しき標語である

村當局の眞劍味、村民の協力により近き將來には七尾金澤線小久米羽咋線の交叉點に於て美しき町の現れんことを……

計劃表

一 統裁 豊島村長 中村校長



外八名の指揮官を置き次の諸係を設く

記録係 一名 傳令係 二名  
救護係 二名 接待係 二名

### 賃取道路

頼もしい事だ。

二 出場人員 六百五十名金

澤 七 尾 線 四 班

小久米羽咋線 八 班

尙其の時にはピラ、ボス

ターも發行されてゐる。又

紀念に手拭が各人に配布せ

られた。

立派な企でないか。益々

熱心に盡力せられたい。さ

うして日本全國に之れを普

及する様になることを祈つ

て竭まない。引き續き今の意氣でやられるならばきつと普

及するだらう。斯かる企は、道路だけが良くなるばかりで

なく、村治の上に於ても、村民の意氣に於ても、必ず見る

可きものがあらう。自力更正は其處から生じて来るだらう

ある。

其の他に知事が管理して居る道路で通行料を徴つてゐる

ものが二つある。一つは奈良縣の奈良公園内にあるドライ

ブウエイで自動車一臺に五十錢を徴り、今一つは熊本縣に

**村民總動員ノ道路愛護デー**

**七月二日**

(雨天ナラバ 四日少雨決行)

指定地集合 午前六時三十分  
作業開始 午前七時  
作業終了 午後五時

石川縣	樋川村	志雄村
南志雄村	北志雄村	
南邑知村		
富山縣	速川村	久目村

賃取道路は大政官布告第六四八號に依つて内務大臣の認可を受けなければ出來ないことになつてゐる。今の自動車専用道路は總て此の布告に依ることになつてゐて内務大臣の特許を受けて經營してゐる。現在吾が國で開業してゐるものは七つ程

於ける國立公園阿蘇登山ドライブウェイで一圓を徴つてゐる。共に公園への入園料であると云ふ解釋ださうである。阿蘇山へは府縣道もある。然し夫れは徒歩者しか通れない。新設のドライブウェイは夫れに接近して改修して改修せられたものだが費用は社會教育課で出して、工事は土木課で實施したのである。

之れ等はどう考へたつて少し變な様だ。道路で通行料を徴つてゐることに考へられる。當然之れ等も大政官布告に依つて内務大臣の承認を受けなければならない様に思ふ。其の布告を擧げて見れば、

道路橋梁河川港灣等通行錢徴收ノ件

(明治四年十二月十四日  
太政官布告第六四八號)

治水修路ノ儀ハ地方ノ要務ニシテ物産蕃盛庶民殷富ノ基  
本ニ付府縣管下ニ於テ有志ノ者共自費或ハ會社ヲ結ヒ水行  
ヲ疎シ險路ヲ開キ橋梁ヲ架スル等諸般運輸ノ便利ヲ興シ候  
者ハ落成ノ上功費ノ多寡ニ應シ年限ヲ定メ税金取立被差許

候間地方官ニ於テ此旨相心得右等ノ儀願出候者有之節ハ其  
他ノ民情ヲ詳察シ利害得失ヲ考へ人費税金ノ制限等篤ト取  
調大藏省ヘ可申出事但本文ノ趣管内無漏可相達事。

此處で大藏大臣とあるは當時土木局か大藏省にあつたの  
で其の後内務省に移管せられたから今日では内務大臣に可  
申出事になる筈である。

最近次の様な話を聞いた。神奈川県の小田原から熱海に  
行く道路に於て二千圓ばかりの橋梁を修繕することがあつ  
た。此の道路は海岸の絶壁の腹に造られたもので景色のい  
ゝ處だ。箱根伊豆地方の遊覽客が多いので自動車の通行が  
多い。其の橋梁を修繕するに就て其の部分の交通が朴絶せ  
られることになつたのである。之れが交通不可能になる時  
には、小田原から熱海へ行くのに陸路をとれば、箱根を経  
て靜岡縣の三島に至り之れから熱海へ出るのである。丁度  
鋭角三角形の一番短い區間が通れないで長い二邊を行くこ  
とになる。時間にしても自動車で普通一時間かゝらない處  
を行くのに五六時間を要することになる。若し八十錢の通

行料を出す氣なら最近出來た箱根熱海峠間の自動車専用道路を通つて先づ二三時間で行けやう。

處で其の橋梁修繕箇所附近に、此の道の改修以前に元歩行者の通つてゐた舊道が残つてゐたさうである。大正十二年の大震災で此の邊はひどく壞れ、新線が海岸の絶壁の腹に造られたのであるが實は私も今までそんな舊道があることを知らないで居た。

具合よく舊道があるにはあつたが、其の儘では到底自動車は通れないので、一時の間に合せの工事であらうが、元の自動車業者の組合で此の道を僅かに自動車の通れる様に修理したのである。其の修理に幾ら費用を要したかは聞かなかつたが、相當の費用をかけたに違ひない。自動車が通れる様になつて見れば、之れに費用を出さない他處の自動車も通ることになる。それで組合では夫れ等の自動車からも工費の一部を負担せしめたいと警察の許可を得て、好意的に貰ふと云ふ意味で自動車一臺には三十錢宛を乞ふたのである。斯くなつて見れば通行料を徴収する道路になつ

てしまつたのである。主務大臣の許可を得ずして道路で通行料を徴収することは道路法では認められてゐない。

其の後縣の土木部で之れを知つて其の通行料を徴収することを差し止めたと云ふのである。

今日の道路法の趣旨は道路の通行料を徴らないことを主眼にして定められてゐる。曩の大政官布告は今の處自動車専用道路の場合のみに適用されてゐて、一般道路では道路法の關係になつてゐるから通行料を徴収ことは大體に於て認められてゐない。

然し此の場合にも大政官布告を適用していゝ様に思はれないか。寧ろ私としては或る場合には適用していゝのでないかと考へるのである。

此の神奈川県の場合好意的に出して呉れるものなら、通行自動車から修繕料に對する負擔はして貰つてもいゝ様に考へられないか。三十錢位なら徴るのが當然だと考へられないか。

道路管理者は必要があれば交通朴絶は出來る。橋梁を修

繕するとすれば交通朴絶するのは當然である。然し出来るだけ交通朴絶にしない様には考へる必要がある。偶々通れる換へ道があるとすれば、管理者は夫れを修理して一時其の方を通つて貰ふと云ふ心掛けは必要でもあり、普通の場合大概はさうしてゐることでもある。だが切りつめた維持修繕費の配當に依つて、土木出張所は其の管内の道路を維持するのに苦心してゐる。常に不足勝で其の算段に頭を悩ましてゐる。其の時に此の橋梁の修繕期間の間だけに更に相當の換へ道費を出すことは、普通なら不可能の場合が多い。然かも遠廻りをすれば小田原熱海間は連絡し得るのである。

此の際交通朴絶に直接打撃を受ける自動車業者が持ち寄りて換へ道を修理しやうと云ふ考へを起したつて當然である。そして此の道を通らうとする他處の自動車からも多少喜捨して貰らつたつて悪くない様に思はれないか。

沿道受益者負擔規定と云ふものがある。通過交通が大部分を占めてゐる様な道路改修の場合でも適用される。沿線

の田畑の所有者にも、又家は自動車のね飛ばす泥を受け、車の地ひびきのみを受けてゐる人達にも適用される。然かも此の改修に依つて直接利益を受けてゐる自動車業者からは何等負擔せしめないこともある。之れ等は不合理であると考へられないか。

道路の改修に依つて、路面の舗装に依つて自動車業者は大變な利益を受けるものである。其の利益のうちの一部を道路の費用に出すと云ふ考へ方は出来ないことと思ふ。尤も今の法律でも之れは出来ると云ふのであるが、手取り早い方法として通行の度に通行料として徴るのことは今では認められてゐない。

私はどうしても大政官布告の意思に依つて正當な手續を踏み、事が當然である場合にて通行料は徴つていゝ様にしたい。

奉仕的に勞働に依つて道路の維持をすることは良いこととされてゐる。其の勞働で奉仕することが出来ない者が、金に依つて報ゆることが何故悪いのだらう。寄附金とした

なら受け得られるかも知れないが、さう一度に纏まつた金を出すことは出来ない場合が多い。通行する度に少額の金を出すことなら容易に出来やう。何故此の方法を活用することが出来ないのであらうか。

通行料の弊も亦大きいには違ひない。之れに悩やんだ例は吾が國に於ても澤山にある。

室町時代と云ふか戰國時代と云はれてゐた頃のことである。武家は費用を要することが多く、又寺社に於ても經費補充の方法として要所に關門を造つたものだ。元來關門は兵略上の考へより來たものであるが、其の目的が變んじて次第に費用を徴收する機關になつて來た。此の關稅を津料又は帆別錢と稱し、運上と呼び、山手川手とも呼ばれた。寺社で關稅を徴收してゐた例は、興福寺は兵庫に、延曆寺は天津に、圓覺寺は箱根、神奈川、品川に、鶴岡八幡宮は國府津、湯本、岩淵に關所を置いて通行料を徴收してゐた。又之れに做つて新に諸方に澤山の關が設けられてゐた。之れ等が産業の發達を害し、人民を苦しめてゐたこ

とは甚しいものがあつた。

東福寺は關を法徳寺大路に設けて、其の稅錢で三層塔造營費にしようとした時に醍醐山科の民が大いに怒つて蜂起したので東福寺は之れを廢した。又大神宮造營の資として京都の七口に關を置いて關稅を徴する様なこともあつたが、人民が之れに耐へ得られなくなつて、之れ等諸關を廢する様に幕府に願ひ長祿三年八月に足利義政は之れ等の關を撤せしめた。又織田信長も隨分道路に關心を持つてゐた人で諸關を廢せしめたと記録にある。

無法の通行料は良くないに決まつてゐる。だから一切道路の通行料はいけなないと云ふ議論は成り立たない。

自動車運輸には舊い構造の道路では近代的道路に比して著しく運轉費を多く要する。だから夫れ等をいゝ道路に改修する場合、自動車の受ける利益の範圍で通行料として費用を負擔せしめたいと私は考へるのである。許されないことであらうか。此の考へ方に就ては私は本誌第十三卷第八號にも述べて置いた。併せて讀んで頂きたい。

## 復線道路

神奈川縣内の直轄施工國道工事のうちに、戸塚から少し箱根寄りの處で改修を初めてゐる處がある。此の邊は美しい松の並木のある處で然かも其の並木敷が高一、二米の土手になつて居てほんとうに氣持のいい處である。幅員は七米五未滿なので此處を擴築することになつたのである。

之れ等の美しい並木はどんなことがあつても伐ることは出來ない。又他に道路を造つて之れを廢道にすることは、例へば並木を伐らないで濟むとしても結局道路の並木でなくなつてしまふ。之れに依つて並木を伐ることもせず、又其の道路は充分に近代道路として活用せしめなければならぬ。之れに於て、一方の並木敷を夾んで復線の道路に改修することになつたのである。一方の道は略々舊道に依り、他方の道路は現道の外側に造られたのである。斯くするとに依つて並木は並木として保存せられる。良く例のある並木であつた松の木を保存するのではない。私は其の計畫

を大變に面白いものに思ふ。

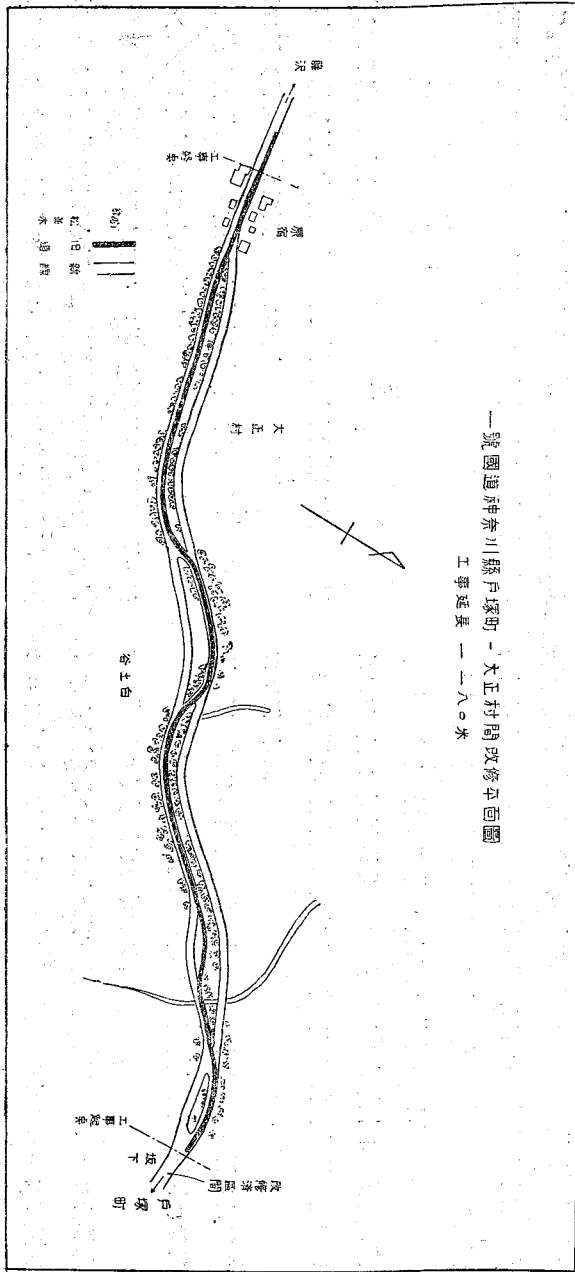
處が其の複道路を造るにしても、多少の並木敷に亂雑に植えてゐる小さい木は伐らなければならなくなつた。伐るに就いては、縣の承諾を得なければならぬので協議をした。其の協議書を偶々新聞記者が見たので東京朝日新聞に「内務省では目下東海道一號國道の改良工事を進めてゐるが、こんど「工事施工上支障あり」との理由で、神奈川縣鎌倉郡大正村厚宿字八幡山地区にある東海道松並木四十七本の伐採をやりはじめた。惜しいなあ。」と出てゐた。之れは現場を見ずに書いたものである。

其の後私は見なかつたが讀賣新聞には、現場の寫眞を入れて、此の工事の並木に對する心遣ひを讚へてあつたと云ふ。

色々に人に依つて見られるものである。何と云はれやうとも確信を以て善いと考へたことは斷然やることだ。

此の話で思ひ出したのであるが『八幡の藪知らず』と云ふ言葉がある。迷路の意味につかつてゐる。其の八幡の藪

と云ふのが千葉縣市川町の近くにある。丁度七號國道に沿  
 ふて人家の間に夾まつてゐる。二町四方もあらうか。誰れ  
 修した。其の時に附近の人達は、吾々は何處へでも引越す  
 から其の藪には觸れない様にして呉れとの申出があつたの



一號國道千葉縣市川町 - 大正村間改修平面圖  
 工事延長 一八〇米

も之れに入らないから、ほんとうに竹が密生してゐる。今  
 でも之れに入ると、どうしても出て來られないと云はれて  
 ゐて、誰れも入らない。昨年直轄工事で其の七號國道を改  
 修した。其の時に附近の人達は、吾々は何處へでも引越す  
 から其の藪には觸れない様にして呉れとの申出があつたの  
 で、多少其の路線を曲げて夫れを避けたと云ふ。  
 又其の直ぐ近くに道路の方に折れ曲がつて來てゐる一本  
 の松の木がある。其の根元の處に神様が祭られてゐる。處

で其の木が路面上十二尺位しかないので、貨物自動車で高く荷物を積んだものの上に人が乗つてゐたりすると、それに突き當つてよく怪我などすることが多く交通上困り切つてゐる。従来屢々之れを伐らうとしてゐるのだが何時も之れを切る人が病氣になつたり、何か怪我などしてどうしても切ることが出来ないでゐる。全く此の木の傳説を知らない人に伐らせやうとしても矢張り何か支障を起すのである。其の支障を起す人は、直接手を下す人に限つてゐて、命じた人には關係はないのださうだ。

迷信と云ふか、傳説と云ふか、或は木の靈力と云ふか恐ろしい様な氣がする。

## 北國の道路

前にも書いたことがあつたが、東北地方では路面が酷く悪い。秋の農産物の收穫時期には、其の運搬のために殊の外路面が壞わされる。青森縣では、『長靴で通れる位の路面にして呉れ』と云ふ請願が出るゝと聞いてゐた。

自動車の旅行者が日程を作つて歩いて居ても殆んど時間通りには運ばないで、夕方到着の豫定が夜中の十一時だの朝の三時だのに着いたと云ふ様な話も聞いた。自動車のガソリンが無くなつて七八里も離れた里までガソリンを買ひに行つて容易く動いたと云ふ話も聞いた。ガソリンの消費料の豫定もつかないのである。

斯うなつて來れば、道路である以上路面の舗装はしなければならぬ。結局産業の發達を甚だしくさまたげてゐることになる。

道が悪いと云へば東京市の環狀線は現在九分通り完成してゐるが、目下車道の舗装面が殆んど全線二、三米置きに、一米四角位の大きさに連続して掘り返へされてゐる。

聞ひて見ると埋設瓦斯管の繼手の締め直しださうだ。東京市で一年間に漏出する瓦斯の量は、神戸市での一年間の使用量に等しい程なのだから、折角の舗装を壞わして瓦斯管を締め直しても經濟はとれるとかでやつてゐるとのことである。漏出瓦斯に依つて沿道の並木も枯れると云はれる



程だから、衛生上だつて良からう筈はない。然し之れ等の環状線は出来て未だ何年にもならないのだ。不經濟にも二度の手間をかけない様なことが、最初から出来なかつたものか知らと思ふ。

道路工事に於て雪國ではちよつと雪のない國で考へられない様なことも起る。青森で直轄施工してゐる淺蟲附近に隧道を掘つてゐる。處で雪の時期の唯一の交通機關である橋は雪がなければ滑らないものだ。夫れで橋が其の隧道の中に入つた時どうするかと云ふ心配があるのだ。隧道の中に雪を運んで雪の鋪装でもしなければならぬが、斯うなつて來れば交通を害してゐる雪も、又無ければ不便になる。

### 流し圓タク

私は曩に、東京市では空の流し圓タクが交通を酷く混亂せしめる。現在の數の圓タクなら、或る瞬間の位置に全部が停車してゐても乗り手から云つて差し支へない様に思ふと書いたことがある。

二三人の圓タクの運轉手に聞いて見たら皆私の説に賛成だつた。事故防止になるし、輸入品であるガソリンは大變に節約になるのだからいゝことの様と思ふのだが、此の圓タクの暫くでも停車することを警視廳が許さないのださうだ。交通安全のため交通整理をやつてゐる警視廳が、且流し圓タクを停車せしめないで益々交通を混亂せしめ、且つガソリンを無駄に消費せしめてゐる。

然し圓タクを停車せしめることは、勝手な位置に停車せしめることは勿論いけない。交通上支障のない様な箇所に乗客に便利な處でなければならぬのは當然である。停車せしめるのも一臺宛でもいい。同じ箇所には群がらせる必要はないと思ふ。

若し勝手に停車せしめたら、淺草だの新宿だの盛り場だの、百貨店の入口附近に一杯になるであらうことは想像し得る。夫れではいけない。然し現在盡くの圓タクを走らせてゐる程の注意さで、駐車場の位置を選定したなら、充分用に足りる方法が得られやうと思ふ。又大きなガレージ

に通じる様に、街路の處々に電流仕掛けのボタンを設備して置いて、乗りたい人が夫れを押せば直ぐ来る様な方法にしたつていゝと思ふ。之れは高層建築のエレベーターを呼ぶ様なものだ。

處で十一月十五日の新聞に次の様に出てゐた。警視廳でも同じ様に考へ初めてゐるのかも知れない。

圓タクの増加による、猛烈な競争で銀座、淺草、上野あたりの盛り場は客をあさる自動車が一時に數百臺も押し寄せるので、交通整理上非常に困難を來すので警視廳交通課では事故防止の意味から種々研究の結果、銀座、上野、淺草の三つの盛り場では流し圓タクを絶対に禁止することになつた。このため同課岡崎交通係長が主任となり數日來この三つの盛り場に出動し圓タクの交通量について詳細な調査をしてゐるが、流し圓タクを禁止するかは圓タク駐車場を隨所に設けることになつた。銀座は新橋から京橋までの西銀座も入れて縦と横の銀座一圓にわたり流し圓タクを禁止するもので、駐車場も從來とはちがひ大量の自動車を停車させるため、禁止區域においては或種の交通制限、たとへば片側の通行禁止などの方法もとる模様である、新宿は道路がせまいため駐車場を設けないかはり特殊な圓タクの交通制限を行ふが、淺草、上野

の流し圓タク禁止區域も盛り場を中心にかなり廣範圍にわたつて行はれる。

今一つ運轉手に聞いたことだが、交通整理をするために鋪装路面に『白ペンキ』又は鐵錐で車線を區分してある様な處でも、普通自動車は其の區分通りには走らない。態々其の區分線を跨いで道路の中央を走つてゐる。何故かと聞いて見たら、中央を通つてゐれば、どちら側でも危険を避けることが出來て安全です。片側に沿ふてゐれば、一方へはよけることが出來ないと云つた。聞いて見ればさう云ふ考へ方も出来る。道路技術者が自動車の一車線は二、七米でいゝ、いや三米なければならぬと云つて車線を分けるつもりで居ても、自動車は常に道路の中央を走りたがる。だから二車線道路だつたら一臺通つてゐれば普通追ひ越すことは出來ないのである。

廣い道程安全ですとも云つて居られない。どうしても車線に沿ふて走らせる様に運轉手を習慣づけなければならぬということかも知れない。自動車の左側通行を嚴重に取締らな

ければならない。唯電車軌道の布設せられてゐる處だけは常に守られてゐる。あの要領で行きたいと思ふ。

### 道路に關することを

駄文を書くな。そんなことに精力を消費しないで、もつと役に立つ研究でもしろよ。と云はれながらも、とうとう私も年の暮まで續けて書いてしまつた。

自分では之れをやめた方がいゝのか悪いのか解らないでゐる。夫れでも時々面白いや、讀んでゐるよと云はればお世辭か知らと思ひながら書き續ける力になる。

殊に藤井博士には、何時も何時も讀んで頂いては、御批評を受けた。私は夫れだけが力になつて書いたとも云へる。お會ひする毎に其の月の私の記事に就て何かと御注意を受けた。橋梁の擬寶珠に就て書いた時には『明治天皇は大變に擬寶珠の欄干がお好きだつたと聞いてゐるよ。由緒のある擬寶珠の橋梁も次第に架換へられる様になる。日本橋のだの京橋のだの、親柱も道路博物館と云ふ様なものと造つて

保存して置きたいものだね。』と云はれた。

『碓氷峠に就て』では『圖面をもつと大きなものにして貰へばよかつたな、碓氷峠の道路と鐵道との關係がちつとも解らないよ。』と注意して下さつた。又『四號國道』と云ふのでは『君、間違をしてゐるよ。北海道廳は小樽市にあるんぢやないよ。』とも云つて下さつた。

君は全國的に歩いてゐるんだから、一つの處しか知らない者には、總合的に見た感想はいゝよ。』と云つて頂いた。書いてゐて、讀んで頂けると云ふことは何にしても嬉しいことだ。

今年も之れで済んだ。來年のことは又ゆつくり計畫でもたてやう。久しく讀んで頂いた各位に御禮申し上げる。お互にいゝお正月を迎へられる様に此處に祈る。